

1. 企画展「平塚の野鳥写真展」

会期 平成31年2月1日(金)～2月27日(水)
開館時間 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
休館日 月曜日(2月11日(月))は開館、2月12日(火)は休館)
会場 平塚市博物館 1階特別展示室(平塚市浅間町12-41)
内容 身近な野鳥を写真で紹介します。市内在住の岡根武彦さんより寄贈された野鳥写真の中から、平塚で見られる身近な野鳥を中心に展示します。岡根さんは野鳥の生活に影響を与えないよう、近づきすぎない、ライトを当てない、追い回さないなど、心を配って撮影を続けてこられました。その写真からは野鳥の自然な姿を見ることができます。
展示物 写真約100点
入館料 無料
担当 博物館 学芸担当 松本典子

2. 寄贈品コーナー展示「湘南の地質 ～プラタモリでいえなかったこと～」

会期 2月1日(金)～3月3日(日)
開館時間 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
休館日 月曜日(2月11日(月))は開館、2月12日(火)は休館)
会場 平塚市博物館 1階寄贈品コーナー
内容 出演した野崎学芸員による展示構成です。相模湾に面する湘南地域の地質とその成り立ちについて、テレビ番組では扱わなかったところもふくめて、わかりやすく紹介します。
展示物 岩石、化石、鉱物など20点、写真パネル40点 など 合計約60点
入館料 無料
担当 博物館 学芸担当 野崎篤

3. ミニ文化祭「高校生が一から調べた秦野の歴史～草山貞胤・湘南馬車鉄道・御旗奉行」

会期 2月1日(金)～3月23日(土)
開館時間 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
休館日 月曜日(2月11日(月))は開館、2月12日(火)は休館)
会場 平塚市博物館 2階情報コーナー
内容 神奈川県立秦野曾屋高校日本史研究部の研究成果を展示します。江戸末期から明治にかけて報徳思想を学んだ草山貞胤の活動や交流、森徳隣家文書から迫る湘南馬車鉄道の軌跡、秦野市内に残る古文書から明らかになった御旗奉行の職務内容や役割について紹介します。
展示物 写真パネル約20点、解説パネル等
入館料 無料
担当 博物館 学芸担当 早田旅人

4. プラネタリウム一般投影「はやぶさ2の挑戦」

実施期間 2月2日(土)～3月31日(日)の土・日曜日

春休み中の水・木曜日

投影時刻 午前11時～、午後2時～(約50分)

会場 平塚市博物館 3階プラネタリウム室

内容 「はやぶさ2」が小惑星リュウグウに到達し、現在、順調に探査を続けています。「はやぶさ2」のミッションやこれまでに明らかにされた小惑星リュウグウの姿を、臨場感あふれるCGとともに紹介します。

定員 各回70名(当日午前9時より受付にて観覧券を発売)

観覧料 200円(18歳未満65歳以上は無料)

担当 博物館 学芸担当 藤井大地、塚田健

5. プラネタリウム特別投影「星空散歩」

実施期間 2月2日(土)

投影時刻 午後3時30分～(約50分)

会場 平塚市博物館 3階プラネタリウム室

内容 星空をたっぷりご覧いただく投影です。冬の大三角や冬のダイヤモンドといった煌びやかな冬の星空を紹介するとともに、“見ると長生きができる星”カノープスの探し方も解説します。

定員 70名(当日午前9時より受付にて観覧券を発売)

観覧料 200円(18歳未満65歳以上は無料)

担当 博物館 学芸担当 塚田健

6. プラネタリウム特別投影「館長の星空解説 いつもの星空」

実施期間 2月3日(日)

投影時刻 午後3時30分～(約50分)

会場 平塚市博物館 3階プラネタリウム室

内容 今夜の星空/2月に見ておきたいあの星座/星座格付け?/立春・節分・星祭

定員 70名(当日午前9時より受付にて観覧券を発売)

観覧料 200円(18歳未満65歳以上は無料)

担当 博物館 館長 澤村泰彦

7. ポスター展示「市民とつくる博物館」

会期 2月8日(金)・12日(火)～14日(木)

会場 平塚市役所 本庁1階多目的スペース2

内容 博物館の活動の中でも、特に深く市民とかかわりながら行っているワーキンググループの活動内容や、平成30年度平塚学講座受講者が作成した成果物をご紹介します。

展示物 写真、ポスター など 合計約30点

担当 博物館 学芸担当 野崎篤